

愛媛県の地震

2025 年 10 月

目次

- 1. 愛媛県周辺の震央分布図1
- 2. 地震概況1
- 3. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震.....2
- 4. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図.....2
- 5. 地震一口メモ 南海トラフ地震の歴史について.....3~4

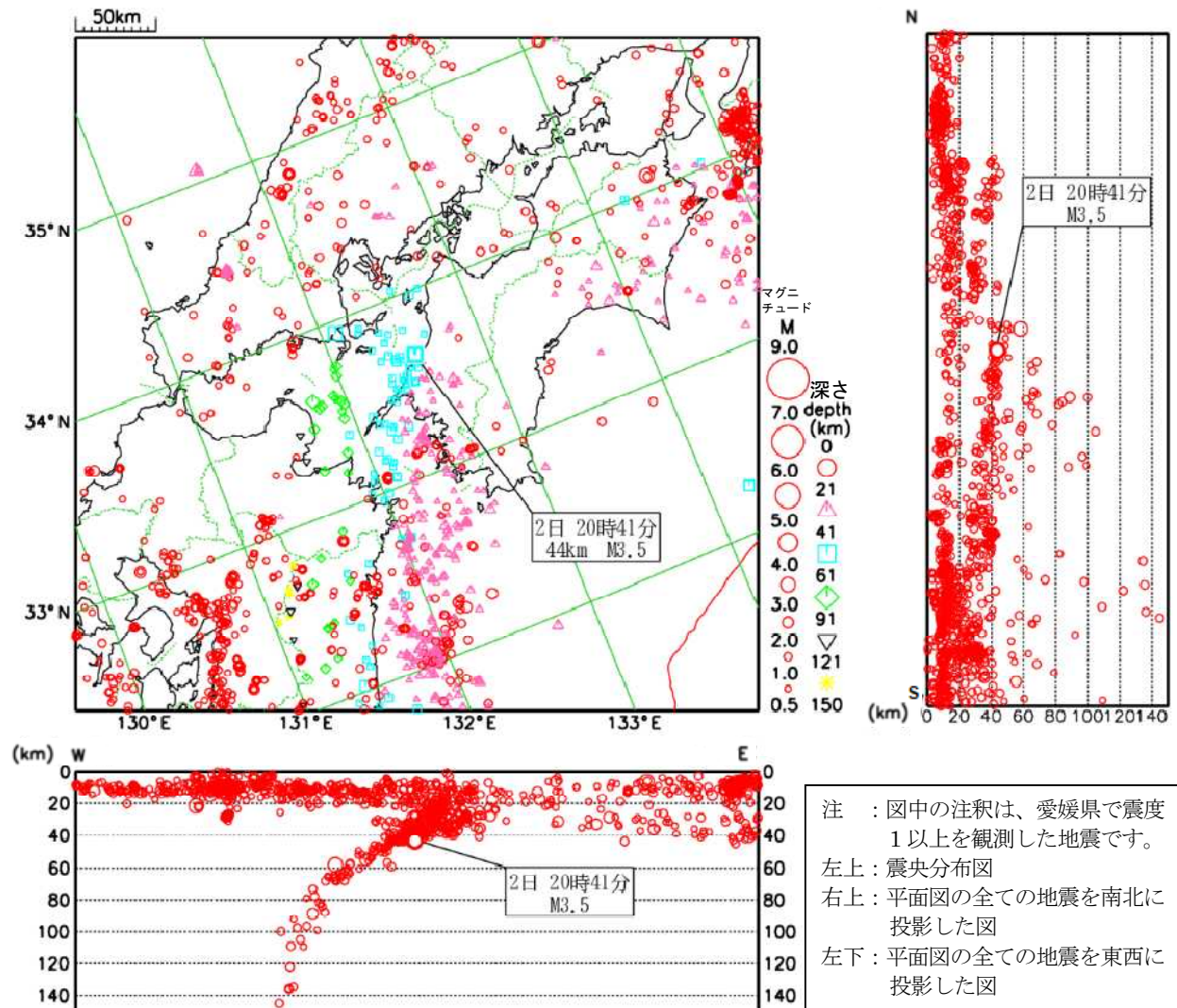
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2025 年 10 月 1 日～10 月 31 日]



2. 地震概況

2025 年 10 月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 63 回（先月は 76 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（先月は 1 回）でした。

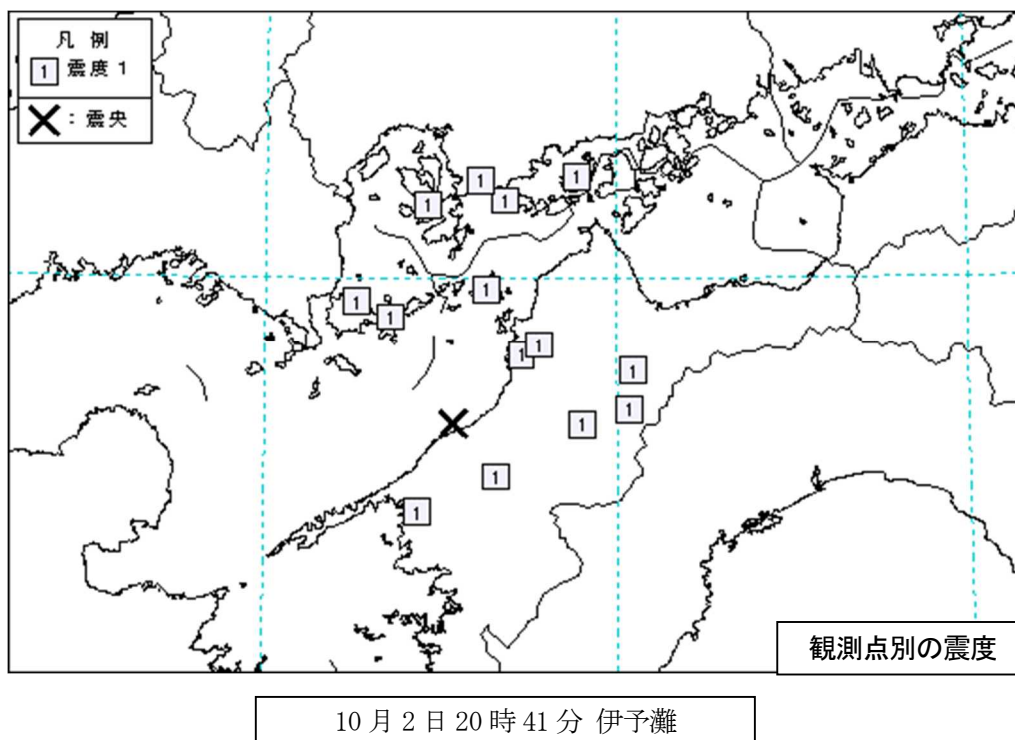
2 日 20 時 41 分 伊予灘の地震（深さ 44km、M3.5）により、愛媛県西条市・松山市・久万高原町・八幡浜市・内子町で震度 1 を観測しました。そのほか、広島県、山口県で震度 1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2025 年 10 月 02 日 20 時 41 分	伊予灘	33° 39.3' N	132° 32.1' E	44km	M3.5	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1: 西条市丹原町鞍瀬,松山市北持田町,松山市富久町*,松山市中島大浦*, 久万高原町久万*,久万高原町渋草*,八幡浜市五反田*,内子町平岡*						

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図



5. 地震一口メモ

南海トラフ地震の歴史について

12月には、昭和東南海地震（1944年）と昭和南海地震（1946年）が発生した月です。

昭和東南海地震は、1944年（昭和19年）12月7日に三重県南東沖を震源とするマグニチュード7.9、深さ40kmで発生した地震です（図1）。この地震により、愛媛県松山市では震度4、宇和島市では震度3、三重県や静岡県で震度6（当時の震度階級の最大）を観測し、中部地方と近畿地方で震度5を観測しました。三重県南部の沿岸では8～10メートルの津波を観測し、愛媛県にも津波が到達していました。

昭和南海地震は、1946年（昭和21年）12月21日に和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード8.0、深さ24kmで発生した地震です（図2）。この地震により、愛媛県では震度4、中部地方～九州地方では震度5を観測しました。和歌山県や徳島県、高知県では5m以上の津波が観測されました。宇和島でも1.3mの津波を観測しており、愛媛県内では数十名の死者や家屋の全壊が報告されています。

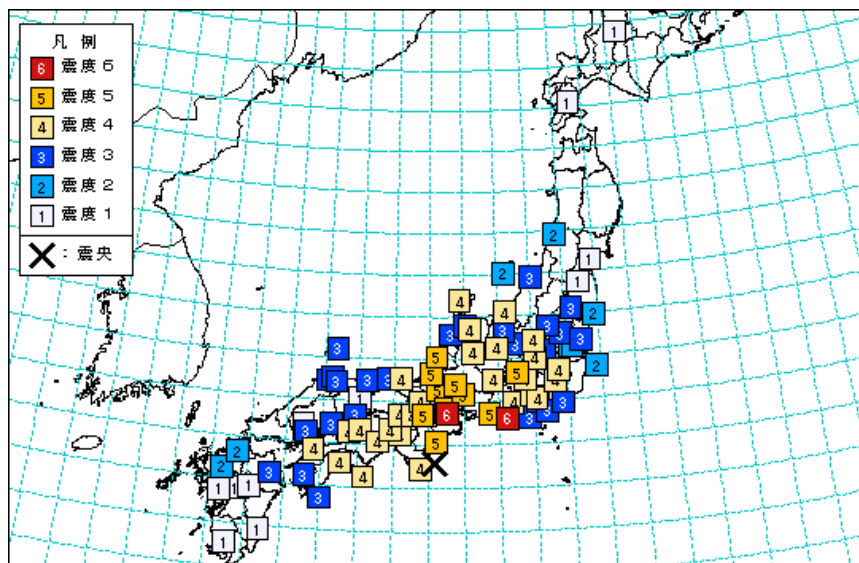


図1 昭和東南海地震の震度分布

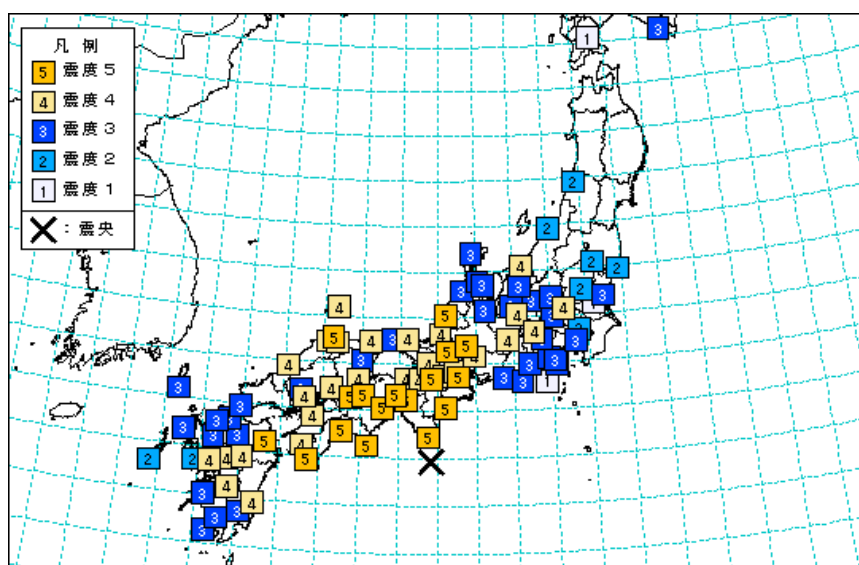


図2 昭和南海地震の震度分布

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です（図 3）。昭和東南海地震と昭和南海地震が発生してから約 80 年が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高い状態になっています。

南海トラフ地震は、もしかしたら明日にも起こるかもしれません。南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、南海トラフ地震発生の可能性の相対的な高まりについてお知らせする「南海トラフ地震臨時情報」の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。そのため、家具の固定や非常用持ち出し袋の準備をするなど、「日頃からの地震への備え（図 4）」を実施することが大切であり、大きな地震が起きた時は自分の身を守る行動を取りましょう。

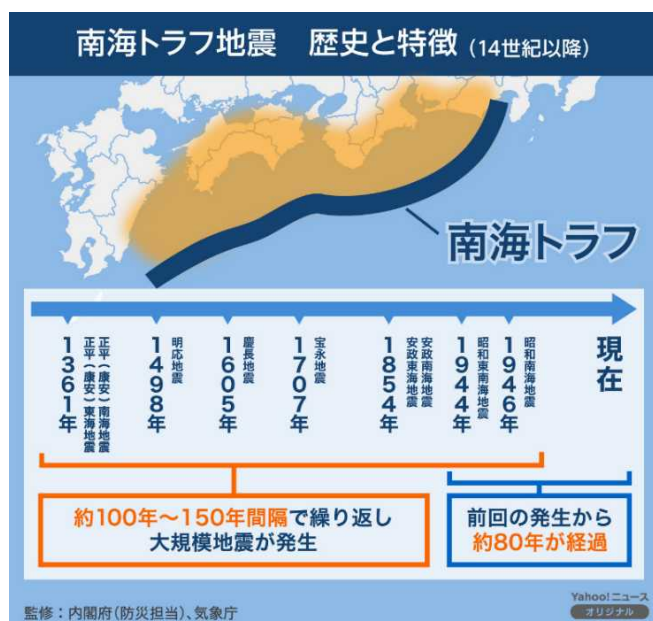


図 3 南海トラフ地震の歴史と特徴

（Yahoo!ニュース制作図解。商用利用不可。図解を分割編集しての使用はできません。）



図 4 日頃からの地震への備え

参考：(1) 気象庁 HP 『南海トラフ地震について』

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/index.html>

(2) 東南海大地震調査概報

https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/pdf/7_syo_jishin.pdf

(3) 南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）について

https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_3.pdf

(4) 南海道大地震調査概報

https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/pdf/8_syo_jishin.pdf

(5) 愛媛県 地域防災計画 資料編

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/135886.pdf>